

刑 法 犯 の 概 況

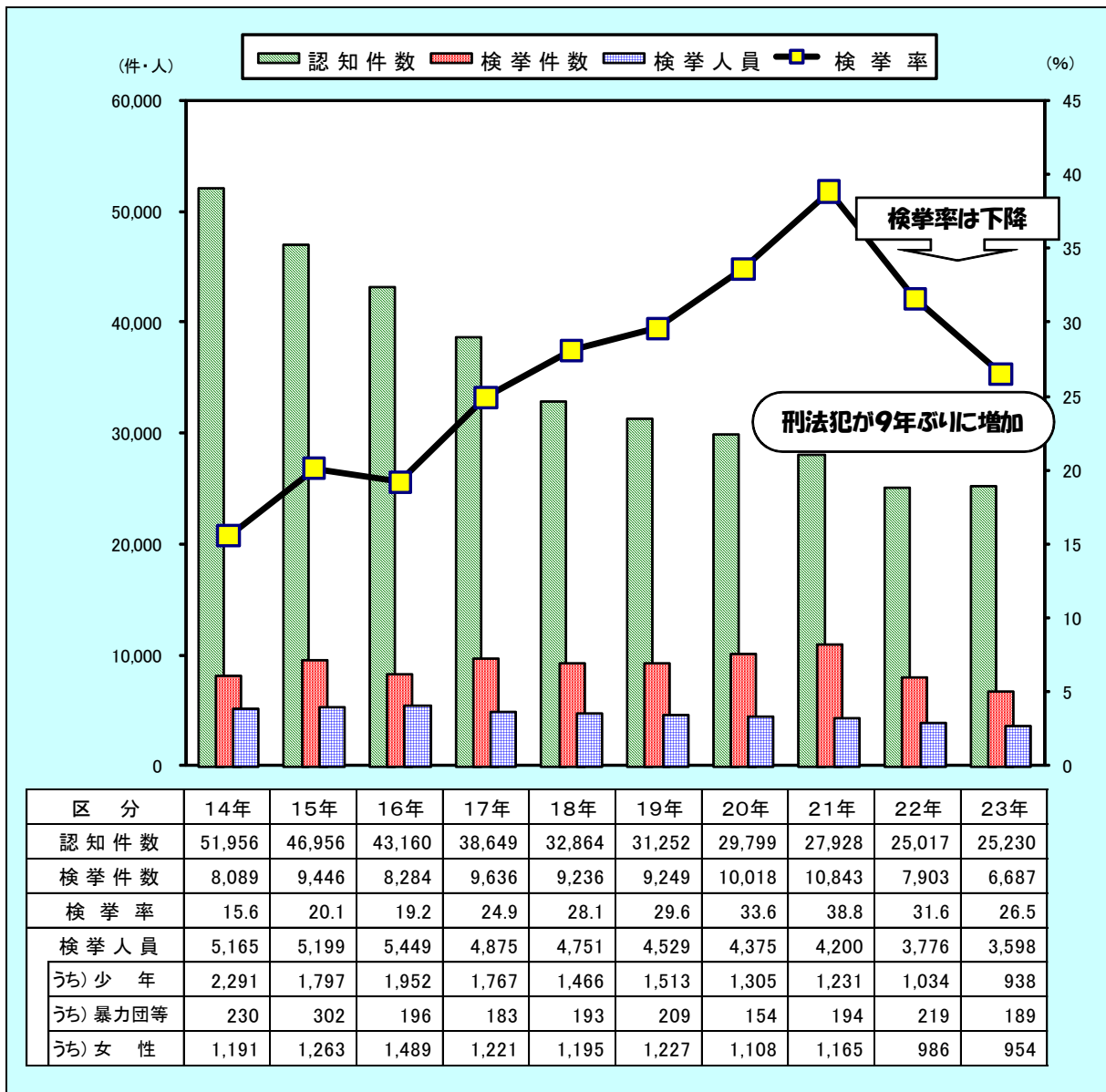
1 刑法犯

● 刑法犯は9年ぶりに増加

平成23年中の刑法犯は、認知件数が25,230件、検挙件数が6,687件、検挙人員が3,598人で、検挙率は26.5%となりました。前年と比較すると、認知件数は213件(0.9%)増加しましたが、検挙件数は1,216件(-15.4%)、検挙人員は178人(-4.7%)それぞれ減少し、検挙率は5.1ポイント下降しました。

刑法犯の認知件数は平成14年の51,956件をピークに8年連続で減少しましたが、平成23年は僅かですが、増加に転じました。

図-1 刑法犯 認知・検挙状況 年次推移

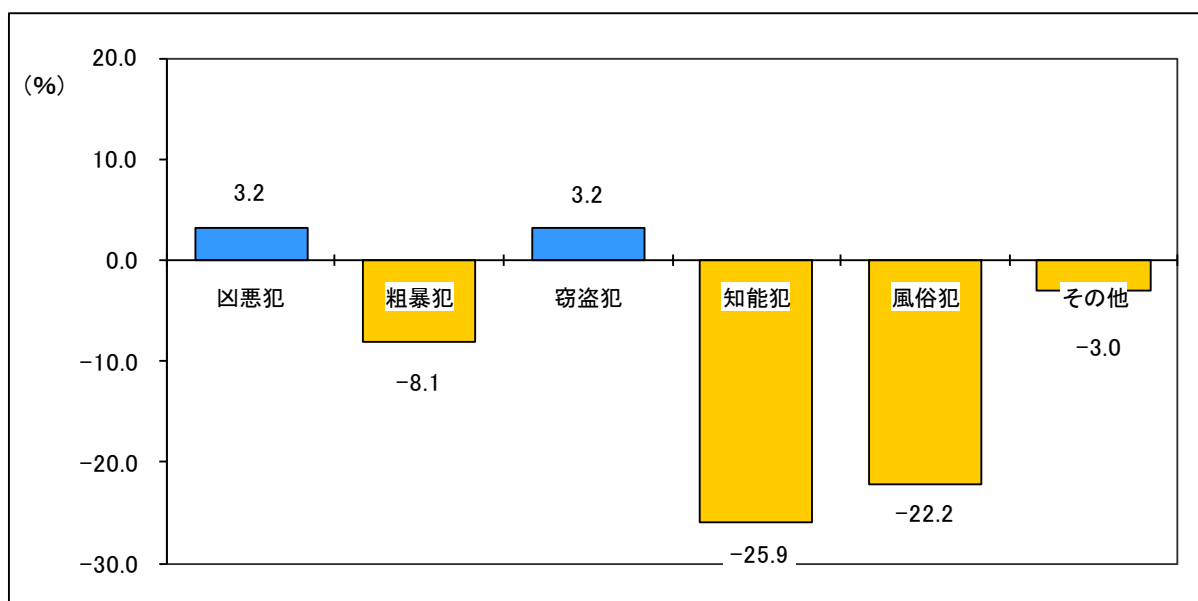


刑法犯の包括罪種別認知件数は、凶悪犯が97件、粗暴犯が488件、窃盗犯が19,584件、知能犯が523件、風俗犯が119件、その他の刑法犯が4,419件でした。前年と比較すると、凶悪犯と窃盗犯がそれぞれ増加しました。

表-1 刑法犯 包括罪種別 認知状況

区分	包括罪種	総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他の刑法犯
平成23年		25,230	97	488	19,584	523	119	4,419
	構成比	100.0	0.4	1.9	77.6	2.1	0.5	17.5
平成22年		25,017	94	531	18,975	706	153	4,558
	構成比	100.0	0.4	2.1	75.8	2.8	0.6	18.2
増減	件数	213	3	-43	609	-183	-34	-139
	%	0.9	3.2	-8.1	3.2	-25.9	-22.2	-3.0

図-2 刑法犯 包括罪種別 認知件数 前年対比



※ 包括罪種とは、刑法犯のうち被害法益、犯罪態様等の観点から類似性の強い罪種を包括して6種に分類したものをいいます。

- ・凶悪犯 ————— 殺人、強盗、放火、強姦
- ・粗暴犯 ————— 凶器準備集合、暴行、傷害、脅迫、恐喝
- ・窃盗犯 ————— 窃盗
- ・知能犯 ————— 詐欺、横領、偽造、汚職、あっせん利得、背任
- ・風俗犯 ————— 賭博、強制わいせつ、公然わいせつ、わいせつ物
- ・その他の刑法犯 ——— 占有離脱物横領、公務執行妨害、住居侵入、逮捕監禁、略取・誘拐等、器物損壊など上記に掲げるもの以外の罪名

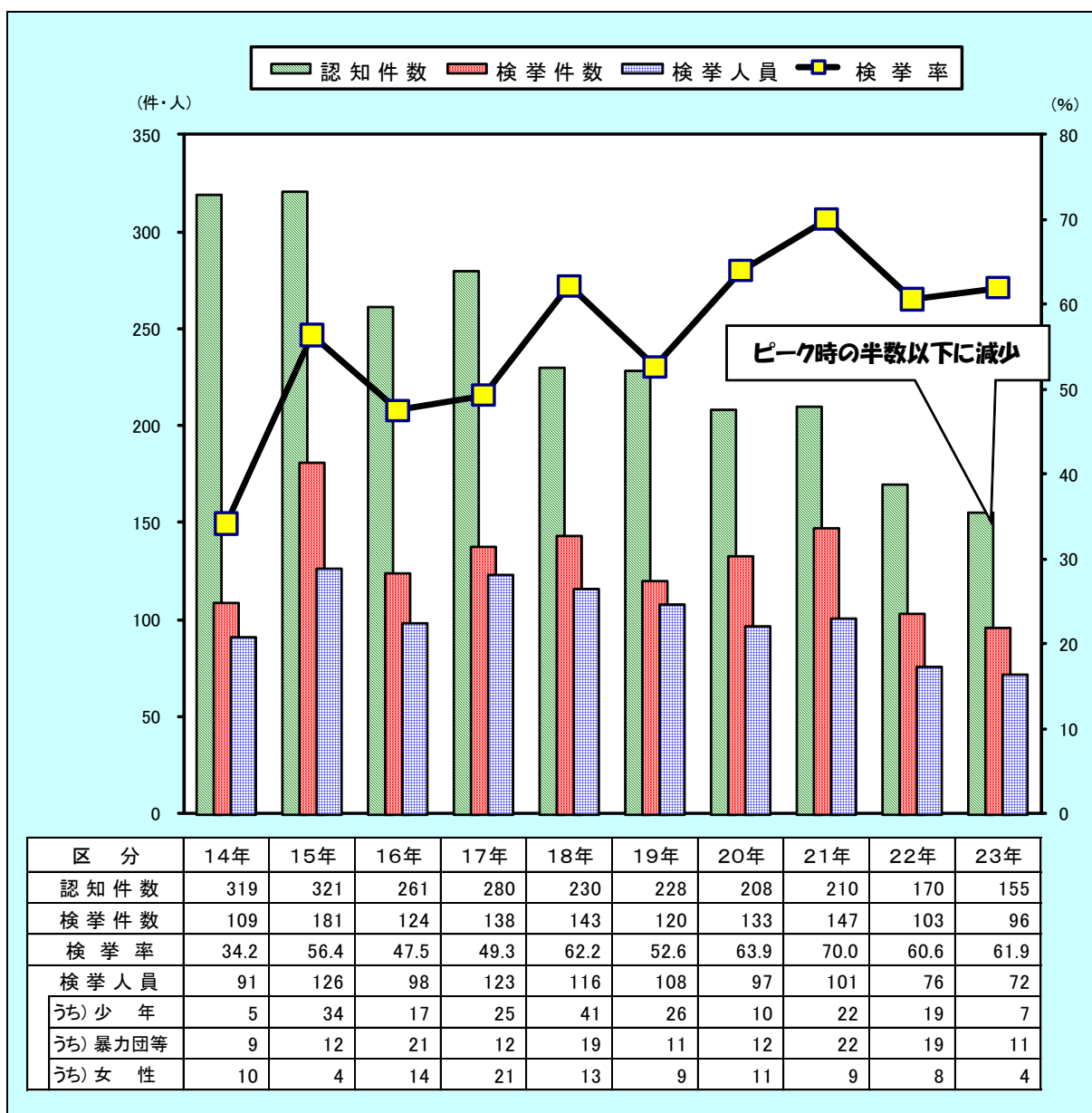
2 重要犯罪（殺人、強盗、放火、強姦、略取・誘拐等、強制わいせつ）

● 重要犯罪はピーク時の半数以下に減少

平成23年中の重要犯罪は、認知件数が155件、検挙件数が96件、検挙人員が72人で、検挙率は61.9%となりました。前年と比較すると、認知件数は15件（-8.8%）、検挙件数は7件（-6.8%）、検挙人員は4人（-5.3%）それぞれ減少し、検挙率は1.3ポイント上昇しました。

重要犯罪の認知件数は平成13年から3年連続で300件を上回りましたが、その後は減少傾向となり、平成23年はピーク時の半数以下に減少しました。

図-3 重要犯罪 認知・検挙状況 年次推移

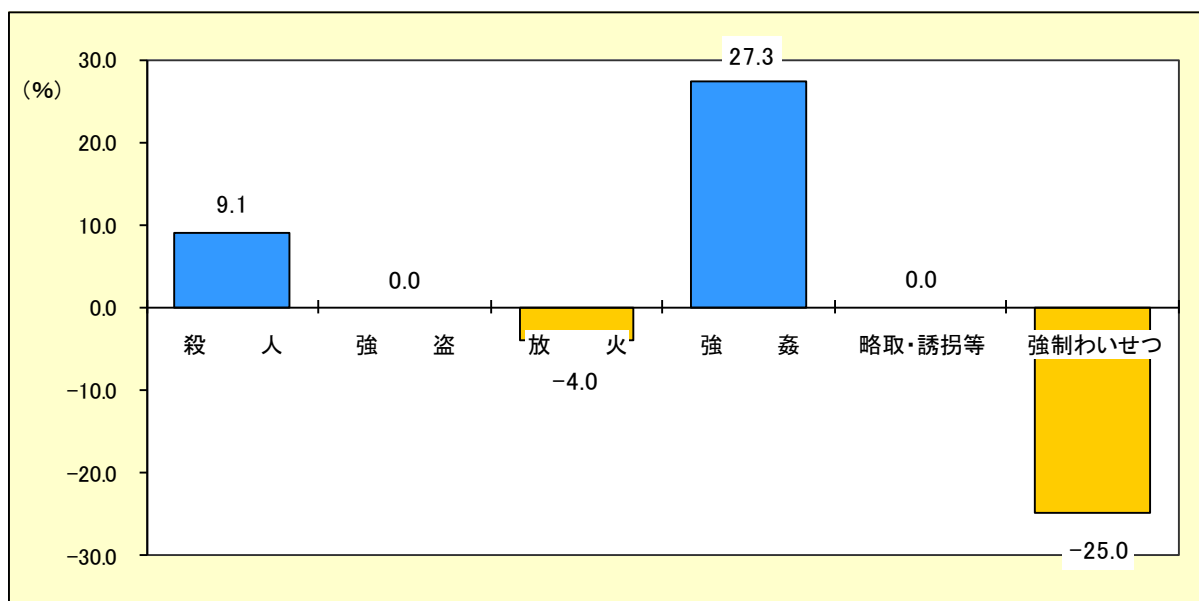


重要犯罪の罪種別認知件数は、殺人が12件、強盗が47件、放火が24件、強姦が14件、強制わいせつが57件、略取・誘拐等が1件でした。前年と比較すると、殺人、強姦、略取・誘拐等がそれぞれ増加しました。

表－２ 重要犯罪 罪種別 認知状況

区分		罪種	総数	殺人	強盗	放火	強姦	略取・誘拐等	強制わいせつ
平成23年			155	12	47	24	14	1	57
平成22年			170	11	47	25	11		76
増減	件数		-15	1	0	-1	3	1	-19
	%		-8.8	9.1	0.0	-4.0	27.3	-	-25.0

図－４ 重要犯罪 罪種別 認知件数 前年対比



※ 重要犯罪とは、刑法犯のうち殺人、強盗、放火、強姦、略取・誘拐等、強制わいせつの各罪種をいいます。

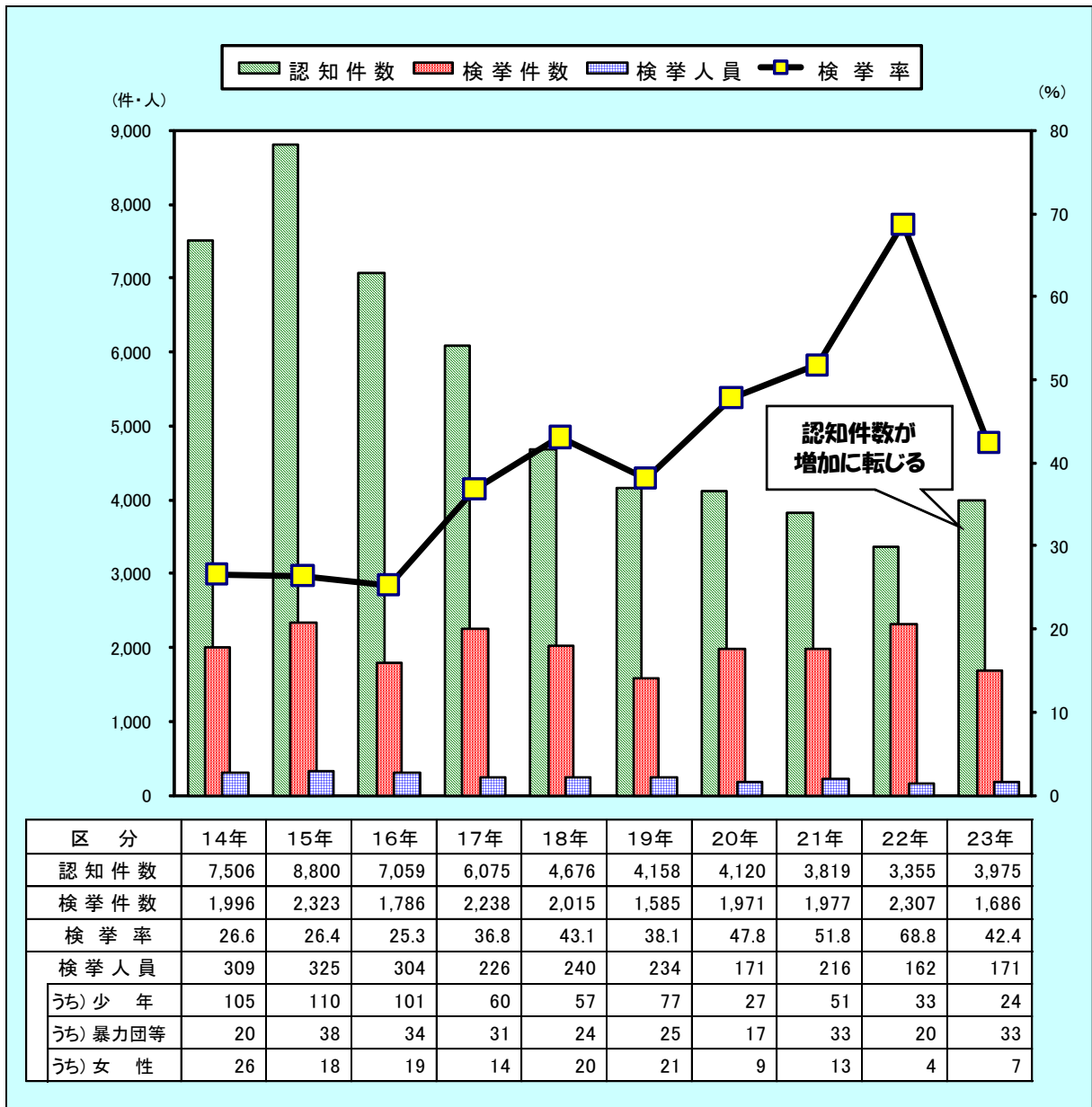
3 重要窃盗犯（侵入盗、自動車盗、ひったくり、すり）

● 重要窃盗犯は8年ぶりに増加

平成23年中の重要窃盗犯は、認知件数が3,975件、検挙件数が1,686件、検挙人員が171人で、検挙率は42.4%となりました。前年と比較すると、認知件数は620件（18.5%）、検挙人員は9人（5.6%）それぞれ増加しましたが、検挙件数は621件（-26.9%）減少し、検挙率は26.4ポイント下降しました。

重要窃盗犯の認知件数は平成15年の8,800件をピークに減少が続きましたが、平成23年は8年ぶりに増加に転じました。

図-5 重要窃盗犯 認知・検挙状況 年次推移

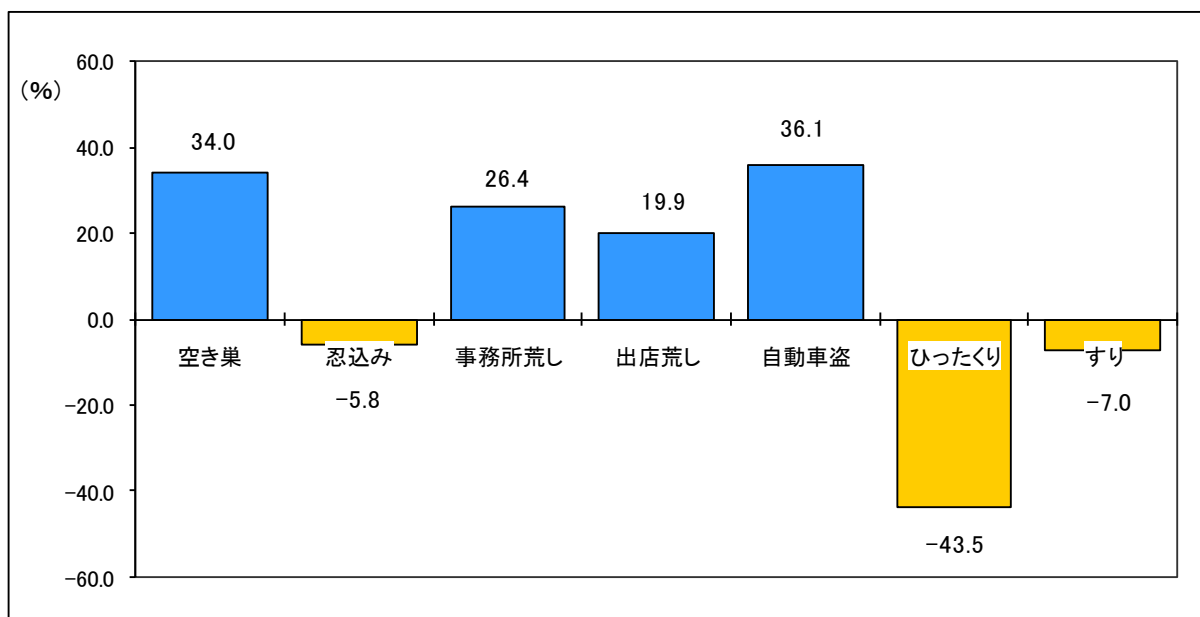


重要窃盗犯の手口別認知件数は、侵入盗が3,176件、自動車盗が724件、ひったくりが35件、すりが40件でした。前年と比較すると、侵入盗と自動車盗が増加し、侵入盗は空き巣、事務所荒し、出店荒しの増加が目立ちました。

表-3 重要窃盗犯 手口別 認知状況

区分	手口	総数	侵入盗	うち)			自動車盗	ひったくり	すり
				空き巣	忍込み	居空き			
平成23年		3,975	3,176	1,186	376	79	724	35	40
平成22年		3,355	2,718	885	399	50	532	62	43
増減	件数	620	458	301	-23	29	192	-27	-3
	%	18.5	16.9	34.0	-5.8	58.0	36.1	-43.5	-7.0

図-6 重要窃盗犯 主要手口別 認知件数 前年対比



※ 重要窃盗犯とは、窃盗犯のうち侵入盗、自動車盗、ひったくり、すりの各手口をいいます。